

自宅で膝枕 ○

『あ、目 覚めましたか？』

『あれ？』

起き、起きてます…よね？』

『おーい』

『あ、おはようございます』

『ふふっ、きよろきよろして  
混乱してますね』

『ここ、私の家ですよ  
そしてそこは私の膝です』

『わわっ、別にそのままでもよかったのに…』

『もうやめてほんとうにいいんですかあ？』

『私の膝枕、寝てて堪能できてないんじゃないですか？』

『もうこれつきりかもしれませんよ』

『次はもうしてもらえないかも』

『ほーら、おにい？』

『ふふっ、素直でよろしい』

『さ、どうぞ』

『失礼しますって』

なんでそんなよそそしんですか』

『もしかして、私に膝枕されてるのが恥ずかしい、とか？』

『今日ぐらい茶化したりしないので遠慮せずゆっくりしてください』

『ほんとですって』

それに…膝枕だけじゃなくて頭も撫でてあげます』

『おにい最近ずっと忙しいみたいだし  
労わってあげたいの』

『…だめ？』

『ふふっ、今日のおにいには本当に素直で可愛いですね』

『ではあたま、なでなでしてあげます』

『よしよし、いいこいいこ  
えらいえらい』

『え、ああごめんなさい  
おにいが子供に見えたからつい』

『いやなら普通になでなでしますけど…』

『よし、よし、なで、なで』

『おにいはいいつも頑張ってたえらいです  
でも頑張りすぎなのは少し心配です』

『その、おにいさえよければですが  
またこうして、おにいを甘やかして？えっと、癒してあげたいです』

『べっ、別に膝枕じゃなくてマッサージとかそういうのでも全然！』

『うん、ありがとう』

『あれ、また眠たくなってきちゃいました?』

『ああいえ、私は別に構いませんが…』

『いいですよ、そのまま寝てしまっても  
はい、一時間ぐらいしたら起こしますし』

sc

『ん?』

おにいが寝るなら私もこのままゆっくりしようと思って、  
それで眼鏡を外しただけです』

『ほーら、変なこと気にしないで寝てください』

『はい、おやすみなさい』

『…ちゅ』

『…〽〽〽〽』